

平成31年度政府予算等に関する
要 望 書
【四国への新幹線導入】

平成30年7月

平素は、四国地域発展のため、格別の御支援を賜り、深く感謝申し上げます。

全国各地で新幹線の整備が進む中、北海道から九州までが新幹線で繋がっており、四国は全国で唯一、新幹線の具体的計画のない地域として取り残されています。そのため、四国は高速交通ネットワークの利便性が他地域と比べて著しく低く、地方創生に取り組む他地域との競争に、大きく後れを取っています。

また、国において、リニア中央新幹線の前倒しなど三大都市圏をつなぐスーパー・メガリージョンの早期形成に鋭意取り組まれていますが、そうした効果を全国に波及させるためには、リニア中央新幹線開業を見据えて、四国も含めて全国を新幹線ネットワークで結ぶことが不可欠であります。

四国の新幹線は、四国の将来を見据えた地域づくりに必要不可欠なインフラであることはもとより、西日本における広域交流圏の形成やスーパー・メガリージョン構想による効果の最大化、南海トラフ地震をはじめとする大規模災害への対応力向上、リダンダンシーの確保など、国土全体の一段の有効活用にも大きく寄与するものと考えます。

昨年7月に設立した「四国新幹線整備促進期成会」を中心に、四国全体が一丸となって、早期実現に向けた取組みを進めており、国においても、四国の新幹線の整備計画への格上げに向けた調査を実施するための平成31年度予算措置を講じていただくとともに、既存整備計画路線の完成前倒しと基本計画路線の早期化による「地方創生回廊」実現のため、小規模にとどまっている新幹線建設予算を大幅に増額していただきますよう要望いたします。

○要望事項

1. 四国の新幹線の整備計画格上げに向けた調査を実施するための平成31年度予算措置を講じていただきたい。
2. 新幹線ネットワークの早期整備による「地方創生回廊」の実現に向けて、新幹線建設予算を大幅増額していただきたい。

以 上